



風と共に奏でる未来

みらいえのしま

M I R A I E N O S H I M A

長崎県西海市江島沖洋上風力発電事業

概要説明 - 第5回法定協議会 -

2026年2月13日

みらいえのしま合同会社

(構成員：住友商事株式会社、東京電力リニューアブルパワー株式会社)



風と共に奏でる未来

みらいのしま
MIRAI NO SHIMA

Contents

1

事業進捗

2

地域共生策の検討・実施状況

3

協議会意見取りまとめの「留意事項」への
対応状況



風と共に奏でる未来

みらいのしま
MIRAI ENOSHIMA

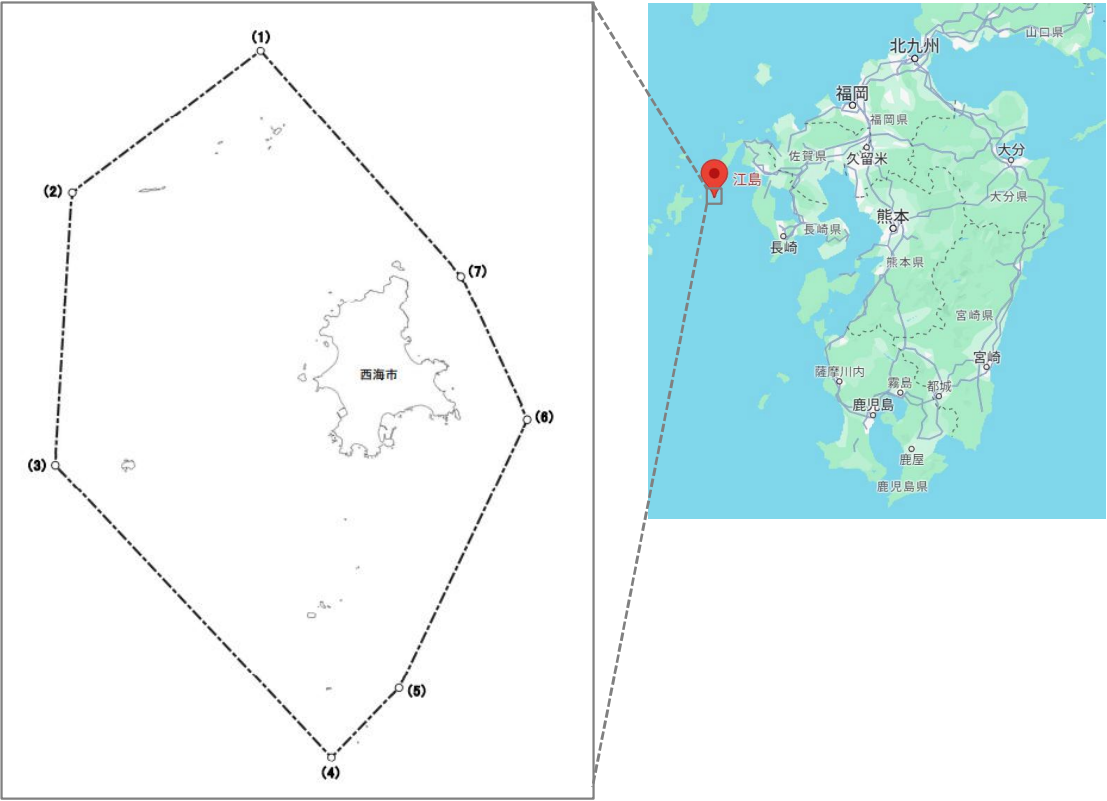
事業進捗



事業概要

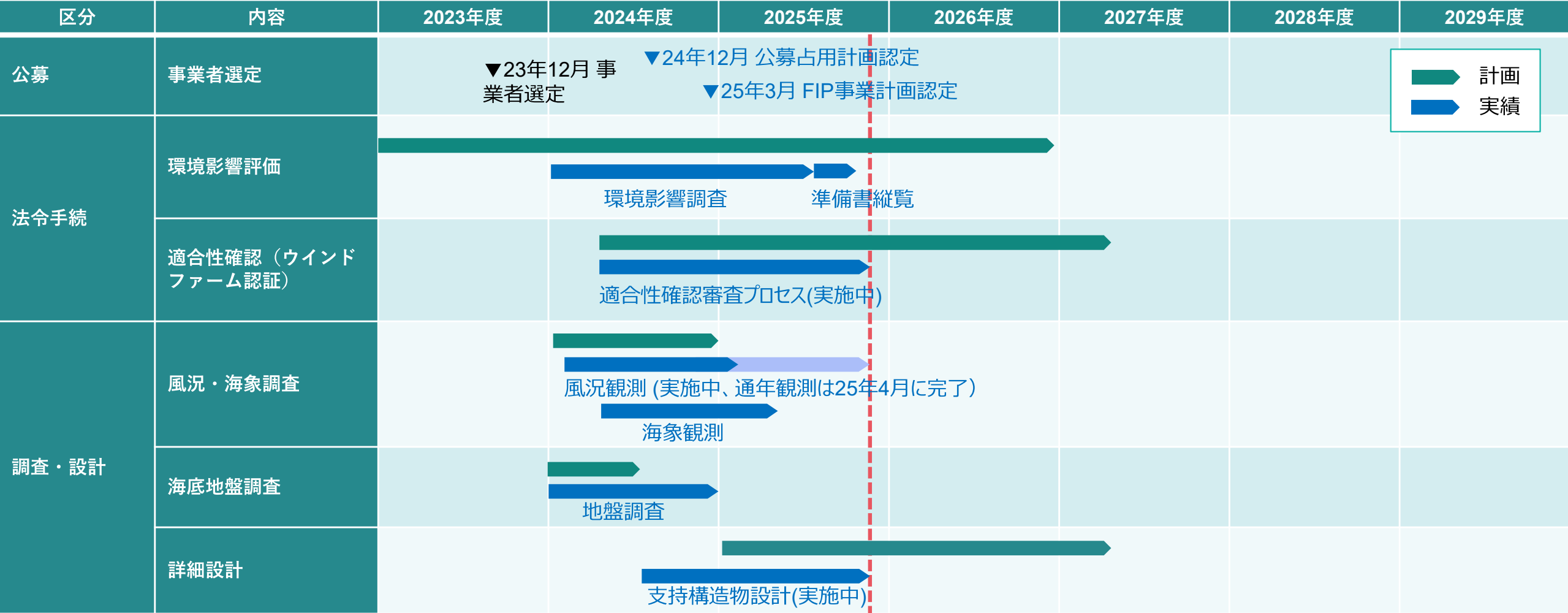
事業者名	みらいのしま合同会社 (2024年3月に設立済)
構成員	住友商事株式会社（代表社員） 東京電力リニューアブルパワー株式会社
事業場所	長崎県西海市江島沖の一般海域（右図）
発電設備出力	420MW
風車機種	Vestas V236-15MW×28基
運転開始予定時期	2029年8月
供給価格	22.18円/kWh

事業エリア



事業進捗・計画（法令手続き・調査・設計）

- 2024年12月に公募占用計画の認定、2025年3月にFIP事業計画の認定を受けました。
- 2025年10月に環境影響調査が完了し、2025年11-12月に環境影響評価準備書の縦覧を行いました。
- 例年に無い悪天候等の影響を受け、海象観測・地盤調査が遅延しましたが、支持構造物設計および適合性確認審査は概ね予定通り進捗しています。



事業進捗・計画（建設・運転）

- 予定通り2025年1月より一般送配電事業者によるアクセス線の工事に向けた調査・設計が開始しています。また陸上変電所建設に向けた準備工事を開始しています。
- 現状、完工・運転開始は計画通り2029年8月を予定しています。一方で、昨年末に国から事業完遂に向けた事業環境整備策の方向性が示されたことも踏まえ、全体計画を現在精査中であり、変更が生じた場合は改めてご報告します。



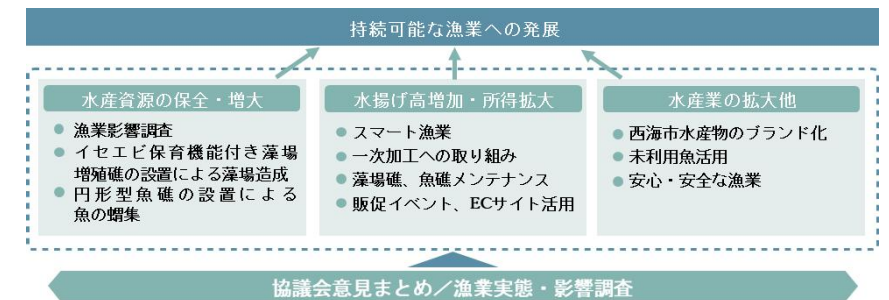
地域共生策の検討・実施状況

地域共生策の概要

- 「協議会意見とりまとめ」を尊重し、**漁業振興**、**江島振興**、**地域振興**の3本柱で日本における先進的な離島振興モデルを確立します。
- 本件の影響を最も受ける江島漁業者及び島民が要望する漁業振興・江島離島振興に取り組み、地域振興に繋げて参ります。
- 今後、各施策の具体的内容の検討を地元の皆さまと協力しながら進めて参ります。



漁業振興策



江島離島振興策



地域振興策



地域共生施策の実施状況

- 当社は、2024年11月の第4回法定協議会以降、主に以下のような活動を行っております。

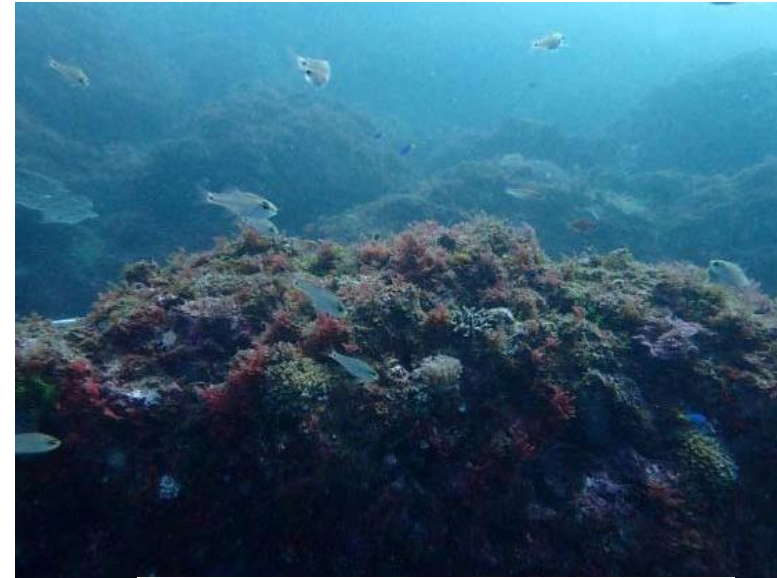
項目	内容
漁業振興	- 施策の一環で、稚イセエビの加入状況と成育場環境のモニタリング や新たなイセエビ増殖法の開発を目的とする野外実験<稚エビ試験礁>を実施しています。 - 大瀬戸町漁協 タコ部会の皆さまにお集まりいただき東京海洋大学教授による講演会を企画させていただき、新型タコ壺(稚タコを育てる)の寄贈を実施しています。 - 昨年度に引き続きマダイの稚魚放流事業に協賛・参加させていただきました。小学生と保護者の皆さまに対し当社の若手社員が紙芝居で洋上風力の説明を行いました。
地域産業活性化	サプライチェーン構築に向けた地元企業様への期待分野を発信する活動を行っております。既に建設分野や備品などで多くの協業実績をいただいております。
出前授業・人材育成	地元西海市の高校生・シニアの皆さま、長崎県内の大学生、県外の洋上風力にご関心ある団体など、様々な方々へ発信する活動を行っております。
地域イベントへの参加・協賛	江島や西海市内の様々な地域イベントに参加・協賛させていただきました。
ボランティア活動	江島の皆さまと共に、当社、住友商事、東京電力リニューアブルパワー 各社の有志で年に3回島内の草刈りを行っています。
地域向け説明会	陸上変電所準備工事、環境影響評価準備書等に関する様々な住民向け説明会を実施しております。

例)漁業振興①：江島イセエビ漁業の持続的発展に向けた施策

- 施策の一環で、稚イセエビの加入状況と成育場環境のモニタリング や新たなイセエビ増殖法の開発を目的とする野外実験<稚エビ試験礁>を実施しています。



江島 稚イセエビ成育場 状況モニタリング



江島 稚イセエビ成育場 状況モニタリング



野外実験用の構造物の写真(江島 沿岸に沈設しモニタリングを継続)

例) 漁業振興②：大瀬戸町タコ漁業の持続的発展に向けた施策

- 大瀬戸町漁協 タコ部会の皆さまにお集まりいただき東京海洋大学教授による講演会を企画させていただき、新型タコ壺(稚タコを育てる)の寄贈を実施しています。

マダコの生態理解深める
西海・大瀬戸町漁協でセミナー

東京海洋大 團教授が講演



マダコのタコつぼ漁が盛んな西海市の大瀬戸町漁協（本木隆光組合長）で5月30日、「マダコの生態について」と題したセミナーがあり、タコの生態調査や飼育技術を研究している東京海洋大の團重樹教授が講演した。

江島沖で洋上風力発電事業に取り組む民間の「みらいえのしま」（同市）が協賛。漁業者や県、市の担当者ら約30人が聴講した。

團教授は2017年、これまで難しいとされていた幼生からのマダコの飼育に成功。生存率が低い幼生や海底で生息する稚ダコを調査し、成ダコまでの成長過程を調査している。

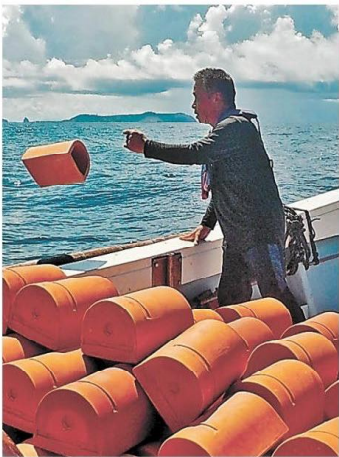
團教授はマダコを増やすために「海底環境を整える必要がある」と指摘。「タコがどうやって身を守って、何を食べているか解明しつつある。（生息しやすい海底環境の）造成など保全策を考えないといけない」と話した。その上で将来的にはタコの養殖や放流を目指す述べた。

漁業者との意見交換では会場から「養殖には夢がある」などの声が上がリ、セミナーを通じてタコへの理解を深めた。

（濱崎武）

2025年6月3日 長崎新聞掲載記事

マダコ資源回復へ 魚礁投入



海に投入されるかまぼこ型の産卵用タコつぼ 西海市沖



魚礁を海に沈める漁業者ら 西海市沖

魚礁は、同市江島沖で洋上風力発電事業に取り組む「みらいえのしま」（同市）が地域振興の一環として提供。長さ60センチ、幅55センチのコンクリートを上層に、稚ダコの隠れ場や餌場となる奥内産のカキ殻が入ったケースを設置し、その上に産卵つぼを取り付けている。9月下旬から10月上旬に潜って産卵状況を調査するのを前に8月26日、水深10メートル以下の浅瀬に沈めた。

タコつぼの投入は市の水産業振興対策事業の一環。今年から円筒型からかまぼこ型に変更した。潮の流れの影響を受けず海底でどまることがから、タコが入りやすいとされている。

同日午前10時半ごろ、9隻が漁協前を出港。同漁協タコ部会の部員らが手分けして、魚礁とタコつぼを次々と海中に投げ入れた。

同漁協は、タコつぼ漁で水揚げされたマダコを県内の水産市場や加工業者に出荷。ゆで上げたマダコを「あべす」のブランド名で販売し、看板商品となっている。ここ数年は水揚げ量の減少が続き、昨年は過去最低の26トンだったが、今年は8月中旬で80トンを超える豊漁となった。同部会の岩本義人会長（68）は「魚礁はタコに限らず、魚などもすみ着きやすく豊かな海になる。資源回復に期待したい」と話した。

（濱崎武）

西海・大瀬戸町漁協 かまぼこ型タコつぼ1200個も

2025年9月3日 長崎新聞掲載記事

例) 漁業振興③：マダイの稚魚放流事業へ協賛

- 昨年度に引き続きマダイの稚魚放流事業に協賛・参加させていただきました。小学生と保護者の皆さまに対し当社の若手社員が紙芝居で洋上風力の説明を行いました。



マダイの稚魚を放流する児童＝西海市大島沖

「大きくなあれ」
マダイ1500匹放流

西海小5年生ら

西海市西海町の市立西海小（吉村裕雄校長、86人）の5年生13人と保護者らが7月29日、同市の大島沖でマダイの稚魚約1500匹を放流した。

遊漁船業者らでつくる県中央釣船業協同組合（山下銀河代表理事）が、海洋環境保全や水産資源の回復を目的に実施しており、今年で23回目。同校は2学期の社会科で学ぶ本県水産業の事前学習と親子レクリエーションの一環として取り組んだ。同市江島沖で洋上風力発電事業に取り組む「みらいえのしま」が協賛した。

西海町七釜郷の港で児童らは、マダイの特徴や洋上風力発電事業などについて説明を受けた後、遊漁船で大島沖へ移動。稚魚を運んできた漁船に乗り移り、「大きくなあれ」のかけ声で体長4〜8センチの稚魚を次々と海へ放った。

その後は、海の上から児童たちが通う学校を見学。帰港後は差し入れのスイカでクールダウンした。伊藤遙花さん（11）は「夏休みの思い出になり、海の環境を考えるきっかけになった」と話した。

（濱崎武）

2025年8月4日 長崎新聞掲載記事

例) 地域産業活性化

- サプライチェーン構築に向けた地元企業様への期待分野を発信する活動を行っております。既に建設分野や備品などで多くの協業実績をいただいております。



長崎市 経済産業部主催 企業交流会の様子



西海市商工会向け説明会の様子

実施日	内容
2024年12月5日	西海市商工会 総会・交流会 参加
2025年1月16日	西海市商工会 新春交流会 参加
2025年2月4日	長崎市企業交流会 登壇
2025年2月27-28日	長崎県産業振興財団主催 県内企業現地視察ツアー 参加
2025年3月13日	長崎市ロータリークラブ講演会 登壇
2025年3月17日	西海市商工会向け説明会 登壇
2025年11月27日	西海市商工会 大瀬戸地区交流会 参加
2026年1月15日	西海市商工会 新春交流会 参加

例) 出前授業・人材育成

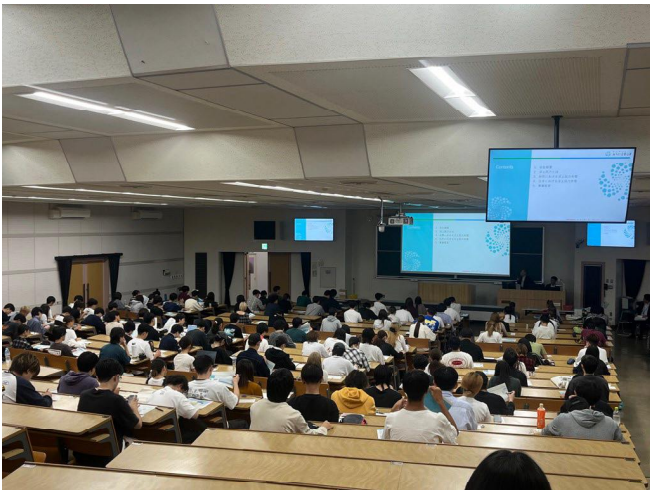
- 地元西海市の高校生・シニアの皆さま、長崎県内の大学生、県外の洋上風力にご関心ある団体など、様々な方々へ発信する活動を行っております。



西彼農業高校 出前授業時の様子



西海市 社会教育講座(江島公民館)の講義の様子



長崎県立大学での講義の様子

実施日	内容
2025年1月10日	長崎大学・新潟大学 来社 対応
2025年2月14日	長崎工業高校 先端企業研修 対応
2025年2月26日	佐賀大学/伊万里市 セミナー 登壇
2025年3月17日	西彼農業高校 出前授業 登壇
2025年6月3日	西海市 社会教育講座 対応 (西海市 新産業推進課様と共に洋上風力概要説明、船上視察などを実施)
2025年10月20日	長崎県立大学 地域創造学部 講義 登壇 (寄付講座「行政の実務と実践」において西海市 新産業推進課様 と共に対応)

例) 地域イベントへの参加・協賛

- 下記を代表に江島や西海市内の様々な地域イベントに参加・協賛させていただきました。



江島くんちの様子



大瀬戸パーロン大会の様子



江島文化祭の様子



さきと納涼花火大会



七つ釜ロードレース

実施日	内容
2024年12月11日	江島文化祭
2025年1月11日	江島 八幡神社 新年参拝
2025年4月7日	江島えびす祭り
2025年7月6日	大瀬戸パーロン大会（協賛）
2025年8月10日	さきと納涼花火大会（協賛）
2025年8月13日	おおせと夏祭り花火大会（協賛）
2025年10月5日	江島くんち
2025年10月26日	第21回 西海市相撲選手権大会（協賛）
2025年11月12日	江島文化祭
2025年12月14日	西海市七つ釜ロードレース（広告協賛）
2025年12月14日	瀬戸ベアーズ杯 少年ソフトボール大会(協賛)

例) ボランティア活動

- 江島の皆さまと共に、当社、住友商事、東京電力リニューアブルパワー 各社の有志が年に3回 島内の草刈りを行っています。



草刈りの様子

実施日	内容
2024年12月3日	第 1 回 江島草刈りボランティアに参加
2025年6月5日	第 2 回 江島草刈りボランティアに参加
2025年7月26日	第 3 回 江島草刈りボランティアに参加
2025年12月2日	第 4 回 江島草刈りボランティアに参加

例) 地域向け説明会

- 陸上変電所準備工事、環境影響評価準備書等に関する様々な住民向け説明会を実施しております。



江島住民説明会(変電所用地伐採)



松島住民説明会(開閉所用地伐採)



環境影響評価準備書 住民説明会 (江島)



環境影響評価準備書 住民説明会 (平島)

実施日	内容
2024年12月5日	中央釣船協会 事業説明
2025年4月23日	江島住民説明会 (変電所用地伐採)
2025年9月27日	江島住民説明会 (陸上変電所準備工事)
2025年11月6日	松島住民説明会 (開閉所用地伐採)
2025年11月22日	環境影響評価準備書 住民説明会 (江島/平島)
2025年11月25日	環境影響評価準備書 住民説明会 (崎戸公民館)
2025年11月26日	環境影響評価準備書 住民説明会 (大瀬戸コミュニティセンター)
	等



風と共に奏でる未来

みらいのしま
MIRAI ENOSHIMA

協議会意見取りまとめの 「留意事項」への対応状況



留意事項(2) 地域や漁業との共存及び漁業影響調査について

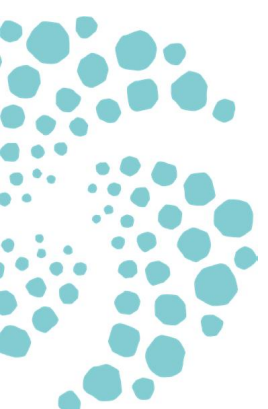
対応項目	対応状況（昨年度からの進捗を太字）
地域や漁業との共存共栄の理念の理解と、地域や漁業者との密なコミュニケーション、信頼関係の構築	上述の通り、各種調査や陸上作業実施にあたり、関係漁業者や地区区長と協議を重ね、住民説明会を実施しました。 今年度も江島のお祭りや草刈り作業等、様々な地域イベントに参加し、引続き漁業者・地元住民との親睦を深めています。今後も地域や漁業者と十分なコミュニケーションを継続し、信頼関係の構築・維持に努めてまいります。
洋上風力発電設備等の設置・維持管理における地場産業との連携等に関して地元自治体と協力	上述の通り、発電設備の設置・維持管理での活用を念頭に、地元企業向けイベントでの講演等の取組を行いました。 - 今後も地元企業への積極的な情報開示とコミュニケーションの機会創出に努めて参ります。
地元自治体による災害時の電力供給確保に関する防災計画の検討・策定に協力	地域共生策、また災害対策の一部として、メンテナンス拠点への太陽光発電システム、蓄電池システムの設置を検討する等、地元自治体による防災計画の検討・策定に協力して参ります。
- 離島振興モデルとなることを目指して、江島振興策検討に協力 - 基金への出捐等の実施、及び地域や漁業との協調・共生策の検討・実施	- 地域や漁業との共存共栄の理念のもと、今後設置される基金への出捐等の運用及び使途については「協議会意見とりまとめ」事項に従い、公平性・公正性・透明性の確保に留意しながら、関係漁業者及び自治体と密に協議して参ります。 最新の検討状況については上述ご参照

留意事項(2) 地域や漁業との共存及び漁業影響調査について

対応項目	対応状況（昨年度からの進捗を太字）															
・ 漁業影響調査の実施	・ 前回協議会でご報告のとおり、地元漁業者の皆さまと相談の上、下記内容で漁業影響調査を実施しています。 <table><tr><th>調査項目</th><th>調査手法</th><th>調査時期</th><th>調査箇所・数量</th></tr><tr><td rowspan="2">イセエビ調査</td><td>潜水調査による生息状況観察</td><td>【1年目】2024年3月～5月・8月～11月(7ヶ月) 【2年目】2025年3月～11月(9ヶ月)</td><td>【1年目】 ・ 2箇所/日×2日/月×7ヵ月/年 = 28箇所/年 【2年目】 ・ 2箇所/日×2日/月×9ヵ月/年 = 36箇所/年</td></tr><tr><td>刺網調査による漁獲状況調査</td><td>同上</td><td>【1年目】 ・ 4箇所/月 x 7ヵ月 = 28箇所(海象条件により全量調査出来ず、実施は20箇所) 【2年目】 ・ 4箇所/月 x 9ヵ月 = 36箇所</td></tr><tr><td>ヒラメ調査</td><td>刺網調査による漁獲状況調査</td><td>【1年目】2024年12月～2025年2月(3ヶ月) 【2年目】2025年12月～2026年2月(3ヶ月)</td><td>【1・2年目】 ・ 刺網調査：4箇所/回×2回/月×3ヵ月/年 = 24箇所/年</td></tr></table> ・ 今後の調査の実施方法については協議会からの意見も頂きつつ、必要に応じて最適化を図って参ります。	調査項目	調査手法	調査時期	調査箇所・数量	イセエビ調査	潜水調査による生息状況観察	【1年目】2024年3月～5月・8月～11月(7ヶ月) 【2年目】2025年3月～11月(9ヶ月)	【1年目】 ・ 2箇所/日×2日/月×7ヵ月/年 = 28箇所/年 【2年目】 ・ 2箇所/日×2日/月×9ヵ月/年 = 36箇所/年	刺網調査による漁獲状況調査	同上	【1年目】 ・ 4箇所/月 x 7ヵ月 = 28箇所(海象条件により全量調査出来ず、実施は20箇所) 【2年目】 ・ 4箇所/月 x 9ヵ月 = 36箇所	ヒラメ調査	刺網調査による漁獲状況調査	【1年目】2024年12月～2025年2月(3ヶ月) 【2年目】2025年12月～2026年2月(3ヶ月)	【1・2年目】 ・ 刺網調査：4箇所/回×2回/月×3ヵ月/年 = 24箇所/年
調査項目	調査手法	調査時期	調査箇所・数量													
イセエビ調査	潜水調査による生息状況観察	【1年目】2024年3月～5月・8月～11月(7ヶ月) 【2年目】2025年3月～11月(9ヶ月)	【1年目】 ・ 2箇所/日×2日/月×7ヵ月/年 = 28箇所/年 【2年目】 ・ 2箇所/日×2日/月×9ヵ月/年 = 36箇所/年													
	刺網調査による漁獲状況調査	同上	【1年目】 ・ 4箇所/月 x 7ヵ月 = 28箇所(海象条件により全量調査出来ず、実施は20箇所) 【2年目】 ・ 4箇所/月 x 9ヵ月 = 36箇所													
ヒラメ調査	刺網調査による漁獲状況調査	【1年目】2024年12月～2025年2月(3ヶ月) 【2年目】2025年12月～2026年2月(3ヶ月)	【1・2年目】 ・ 刺網調査：4箇所/回×2回/月×3ヵ月/年 = 24箇所/年													

留意事項(3) 洋上風力発電設備等の設置位置について

対応項目	対応状況（昨年度からの進捗を太字）
- 既設の海底ケーブルの保全及び管理に支障がないよう管理者と協議 - 関係漁業者、船舶運航事業者、海上保安部等と協議し、船舶航行の安全を確認	海底地盤調査結果や漁業関係者・フェリー会社のご要望を踏まえ、風車配置を変更いたしました。今後、海底ケーブルルートの地盤調査結果を踏まえ、配置を最終化していく予定です。 - 工事期間中も含めた本海域における航行の安全確保に向けて、船舶航行安全委員会の立上げの準備を進めています。
島内居住者に対する騒音等の影響防止の観点から江島島内の住宅から800m以内の海域に洋上風力発電設備等を設置しない	変更後の風車配置案でも、江島島内住居から800mの範囲には風車を配置していません。



留意事項(4) 洋上風力発電設備等の建設に当たっての留意点

対応項目	対応状況（昨年度からの進捗を太字）
調査・建設及び安全対策に関する関係者への丁寧な説明・協議	今年度も各種調査・現地作業実施にあたり、漁業者等の関係者と協議を重ねるとともに住民説明会を実施しました。今後、洋上工事の実施に際しても詳細な計画を立案したうえで、漁業者・地元住民等関係者への事前の説明・協議を実施して参ります。 - 航行安全委員会を立上げ、本海域における航行の安全確保に向けた検討・確認を進めて参ります。 - 社内で安全評価体制を整備し、工事、操業時等における作業の安全確保に向けた検討、確認を進めて参ります。
発電設備の事故等により既存海洋設置物へ被害が及ばぬための措置	- 地震・台風対策：風車はClass T仕様の型式認証取得済の機種を採用します。日本向け風車の標準仕様タワーを用い、統一的解説に基づく地震荷重(極めて稀に発生する地震)、短期荷重(暴風波浪時の終局限界状態)に対して風車含めた一体モデルで支持構造物の解析・照査・設計を実施することで地震・台風に対して安全性を確保します。なお、地震に伴って生じる恐れのある津波への対策については、長崎県防災会議「長崎県地域防災計画 震災対策編 令和5年6月修正」に規定される津波の荷重に対して、安全な設計を実施します。 - 落雷対策：日本特有の高エネルギーな冬季雷に対応し、国内基準であるJIS C1400-24に準拠し、落雷対策が施された風車を採用します。 - 上記の対策を取りますが、万一、倒壊、崩壊した場合においても、既存インフラ（航路、海底送電線、海底通信線）に影響が生じないよう、適切な離隔を確保し風車を配置しています。 支持構造物設計および適合性確認審査は概ね予定通り進捗しています。

留意事項への対応状況

留意事項(5) 発電事業実施に当たっての留意点

対応項目	対応状況（昨年度からの進捗を太字）
- メンテナンスに関する関係者への丁寧な説明・協議 - 船舶運航ルールの整備及び関係者への丁寧な説明・協議	- 詳細な維持管理計画を策定したうえで、関係者への説明を実施して参ります。 - 関係者と密に協議を行いつつ、航行安全委員会も開催し航行の安全を確認したうえで、工事および維持管理に使用する船舶の運航ルールを策定していく方針です。

留意事項(6) 環境留意事項

対応項目	対応状況（昨年度からの進捗を太字）
- 環境影響評価の適切な実施 - 生活環境・自然環境等への配慮	- 環境影響調査を2024年4月～2025年10月に実施し、準備書の縦覧並びに住 民説明会を2025年11～12月に実施しました。 - 今後、準備書へのご意見も踏まえて評価書の作成を進める予定です。内容について は必要に応じて地元自治体や関係漁業者への説明・協議を行って参ります。
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 への配慮	海底地盤調査結果や漁業関係者・フェリー会社のご要望を踏まえ変更した風車配 置をもとに、遺産影響評価の最終報告書を取りまとめ、長崎県に提出しました。構成 遺産の「顕著な普遍的価値（OUV）」への影響は引続き限定的であることを確認し ています。



風と共に奏でる未来

みらいえのしま

MIRAI ENOSHIMA